

# 競技注意事項

## 1 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申合せ事項によって実施する。

2024年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、小学生種目では、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。なお、小学生については公認記録の対象としないため、2020年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルール(第143条・競技用靴)及び競技者の衣類(※ユニフォームを除く)・バッグ等の広告規程については適用外とする。

また、競技規則第170条10項を適用するため、他のリレーや他の種目に申し込んでいる小学5・6年生の競技者は、男女別リレーや男女混合リレーに出場することができる。

※ 競技者のユニフォームの商標等については、日本陸連の国内規則をそのまま適用するのではなく、主に製造会社名/ロゴ等が過度に大きい場合(例：上着に大きなロゴ)にのみ対応をお願いすることを想定している。

- (1) 競技に際して1,000m及び800mを除く種目ではスパイクシューズを使用してよい。ただし、オールウェザー用のスパイクピンとし、長さ9mm以内、本数11本以内とする。素足による競技は認めない。
- (2) 6.0m(今年度より)、100m、80mH、4×100mRのスタートは、クラウチングスタートとし、スターティングブロックを使用してもよい。
- (3) スターターは、英語で「On your marks : オン・ユア・マークス」(意味：位置について)「Set : セット」(意味：用意※1000m、800mではなし)と合図する。その際、同じ競技者が2回の不正スタートをした場合、その競技者を失格とする。
- (4) リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは、30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。走者が2つ以上のテープなどのマークをつけることは禁止する。また、リレーチームのメンバーの上着のユニフォームは統一したものでなくてはならない。ただし、男女混合4×100mRでは男女による型の違いは認めるものとする。  
※ 出場のチームは、当日の受付時に配付する「リレー・オーダー用紙」に記入の上、招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに山形陸協が任命した医務員の判断がない限り認められない(R24.11)。
- (5) 80mHは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまで11mとする。
- (6) 走高跳の跳躍方法は、はさみ跳びとし、マットへは足裏からの着地を原則とする。背、腰等から落下した場合は無効試技とする。走高跳の最初の試技の高さは、女子が1m05cm、男子が1m10cmとし、以降5cmずつ高さを上げ、女子は1m25cm、男子は1m30cmになったら、3cmずつ高さを上げる。3回続けて失敗した場合は試技終了となる。
- (7) 走幅跳・ジャベリックボール投は、一人3回の試技とし、トップ8は行わない。
- (8) ジャベリックボールは、大会事務局が準備するものを使用する。助走距離は、15m以内でやり投げの助走路で行うものとする。試技の際にはボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることとする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

## 2 ウォーミングアップ・練習について

- (1) サブグラウンドは他団体で使用予定のため、ウォーミングアップ・練習は、バックストレースで行うこと。ただし、リレーや1000m、800mの競技前や競技中は、使用することができない。
- (2) 各個人及び指導者の責任のもと、ウォームアップ場係の指示により行い、事故防止には注意を払うこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は山形陸協において行うが、以後の責任は負わない。なお、屋内走路は原則として開放しない。

## 3 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンドの北側の裏（掲揚台の北側）に設置する。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。招集完了時刻に遅れた競技者は、原則、当該競技種目を欠場したものとする。

	トラック種目 予選(決勝タイムレースを含む)		トラック種目 決勝	フィールド種目 決勝
	1～3組	4組～		
招集開始時刻	35分前	20分前	30分前	45分前
招集完了時刻	20分前	5分前	15分前	30分前

## 4 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) アスリートビブス（ナンバーカード）は山形陸協が2枚配付する。競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ナンバーカード）をつけなければならない。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（招集所で配付）をショーツまたは下半身の右後方につける。4×100mリレーでは、最終走者は配付された腰ナンバー標識をつける。

## 5 競技場内への入退場について

競技場内への入退場は、各ゲートと、バックスタンドの北側の招集所入口とする。競技終了後は、競技役員  
の指示に従い、最寄りの階段やスロープから観客スタンドに退場する。なお、衣類搬送は行わないため、ス  
タート地点に戻る際は、100m・80mHは屋内走路を通ること。また、1000mは第1曲走路部分を  
スタンド壁面に沿って戻ること。

## 6 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。ただし、いかなる抗議も、競技者自身または監督から審判長に対して口頭で行うこととする。

## 7 表彰について

- ・ 個人種目：6位までの入賞者には賞状、優勝者にはメダルを授与する。
- ・ 男女別リレー：6位までの入賞チームには、個人用賞状5枚・チーム用賞状1枚、  
優勝チームには、個人用メダルを5個授与する。
- ・ 男女混合リレー：6位までの入賞チームには、個人用賞状6枚・チーム用賞状1枚、  
優勝チームには、個人用メダルを6個授与する。

※ 日程の都合上、表彰式は行わない。6位までの入賞者・チームは、成績発表のアナウンスより30分経過以降、会議室1・2（受付会場）にて受け取ること。その際、個人毎に受け取っても代表者がまとめて受け取っても、どちらでも構わない。

## 8 個人情報の取り扱いについて

山形陸協は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

## 9 その他

- (1) 応援幕・のぼりはサイド及びバックスタンド最上部に張ること。なお、メインスタンドにはテントやタープは、一切張ることができないため、注意すること。
- (2) 走幅跳での本部席上のスタンド（コーンで示す）からの助言は、運営の妨げになるため止めること。また、競技者への助言は、運営の妨げにならないように配慮すること。さらに、競技者に触れたり、審判長の許可なく物を渡したりする行為は禁止とする。
- (3) 女性競技者が競技に専念できる環境づくりへの取組みとして、100mスタートの後方スタンドに撮影禁止エリアを設ける。撮影禁止エリアでは、すべての撮影機器の使用を認めない。

## <競技会運営留意事項>

### ○ 事故防止及び競技者はじめ関係者の安全を期すためのテント設営の際の取扱い基準について

- (1) テント設営にあたっては、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定すること又は支柱にバランス良くテントウエイト（オモシ：土砂などを入れた袋等（10～30kg程度）を支柱にくくりつけるなど）を取付けること。
- (2) 風速3m/秒以上になった時又は3m/秒以下でも軽い突風、つむじ風などが発生した時は、アナウンスによる注意及び指示に従って安全対策の実施状況を点検し、上記の基準（1）を徹底することまた、危険と思われる突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたみ飛ばされないようにすること。
- (3) 倒壊及び人身事故があった場合は直ちに状況を確認のうえ大会総務に口頭で報告するとともに、ケガ人等の程度を見て必要に応じ救急車を要請すること。

### ○ 災害・事故発生に対する措置について

- (1) 怪我の対応について
  - ・ 救護役員（医師）による応急手当を行う。
  - ・ 山形陸上競技協会派遣医師による手当てを行う。
  - ・ 近隣病院へ搬送する。この場合は、引率者または保護者対応とする。
- (2) 災害への対応
  - ・ 利用施設の災害対応マニュアルにしたがい避難・対応する。
  - ・ スタジアム職員、競技役員の指示に従い避難する。
  - ・ スタジアムは基本的に耐震設計されているので安全である。揺れが収まるまで上や近くの備品が倒れてくることを警戒しながら安全なところにとどまる。
  - ・ 競技続行の判断は、審判長、総務で協議の上行い、放送により通知する。